

ありがとう台湾！ありがとう政治大学！

2016 年度台湾奨学生
金平良佑司



※2018 年 6 月の政治大学卒業式での写真
あこがれの帽子飛ばしは最高でした！！

<はじめに>

皆さん、こんにちは！政治大学の国際 MBA 修士課程に通っていました平良と申します。こちらの記事を読んでいる皆さんはきっと、これから台湾留学を検討している方、または決定してこれから渡航する方ではないでしょうか。きっと期待や不安が入り混じったお気持ちだろうかと思います。2 年前の私も同じ気持ちでした。そんな皆さんの気持ちが少しでも整理がつけばと思い、この経験談を書いています。

具体的なアドバイスと私の経験談の前に、少し私の話をさせてください。私は地元沖尚高校を卒業後、東京にある青山学院大学に進学し、卒業後は U ターンで沖縄セルラー電話に就職しました。9 年間の社会人経験を経て、2016 年より台北にある国立政治大学の修士課程（国際 MBA）に進学しました。

そして進学するにあたって、もう一つ決めていたことは起業することでした。そのため、起業にあたってはビジネスの仕組みをもっと勉強しなければいけないと痛感し、更に語学も必要（英語、中国語）と思っていたので、大学のコース選択では英語で行う MBA を提供している政治大学を選び、またダブルスクール形式で中国語の語学学校にも通うことにしました。

<国立・政治大学について>

政治大学は、台北市内の端っこにあります、近くには動物園やお茶で有名な猫空などがあり、多くの日本人観光客でも有名な場所にあります。市街地から離れた立地にあるため、集中して勉強に励むことができるのも政治大学の魅力の一つです。国立大学ということもあり、台湾全土から優秀・聡明な学生が集まり、近年では欧米各国の生徒も数多く学びに来ているようになっております。政治大学は総合大学でなく、社会科学や政治、経済学に力を入れており、私が在籍していた商学部（国際 MBA）も台湾の中ではダントツの知名度を誇っております。そのため、卒業するには各授業に真剣に取り組む必要があります、毎回予習・復習はあたりまえ、テスト前の1ヶ月は図書館に入り浸る生活でした。

生まれたこの方、図書館という場所で勉強することが縁遠い私でしたが、お陰様で政治大学に入って図書館で勉強するということが出来ました！台湾は教育に非常に力を入れており、国立大学ともなると図書館は24時間開放しているので、早朝でも深夜でも必ず学生が勉強していますので、勉強を本当にしたい沖縄の高校生にとっては聖地になるかと思えます。

もちろん勉強だけではなく、文武両道にも力を入れており、キャンパス内にはジムやプール、陸上トラック、バスケットコートなども完備されており、私も週に3日はジムで汗を流して、日頃のストレス解消をしていました。また、学生の懐に優しい学食も当然あり、250円程度で満腹になりますし、学生寮も完備されているので、心身ともに健康で全力で勉強に取り組めるようになっています。

<入学に関しての条件>

台湾には約130の大学があると言われておりますが、私達日本人を含め、年々多くの外国人が台湾の大学で学んでいます、特に中国大陸の世界進出により、近年では英語以上に中国語の必要性については、この文章を読んでいる方々も痛感しているのではないのでしょうか？

さて、入学に関しては各大学の要項による部分もありますが、大きく分けると2つあります。中国語専攻で授業を受けるのか、または私と同じように英語専攻で授業を受けるのかの違いです。

中国語専攻の方は、所定の中国語の検定試験に突破しなければいけなく、TOCFL（華語測検）と言われる台湾教育学部が定める試験の中級以上と取得することが望ましいとされております。英語専攻の方は、TOEICやTOEFLの試験を受け、所定のレベルに達することが必要とされており、目安としてTOEIC750点以上は必要だと思います。

また語学試験の結果に加えて、重視されるのが「学習計画書」と「自己アピ

ール文」です。前者は具体的にどういう勉強をしたいのか、目標はどういったことなのかを英語又は中国語で記載し、後者は自分を売り込む文章を記載する必要があります。いずれも、専攻するコースの言語で書く必要があるため、相当の時間を有して、中身の詰まったものにする必要がありますので、時間に余裕をもって取り組みたいところです。

大学の願書申請は大まかに春先の3月から5月となり、合格発表が5月後半から順次始まっていきます。多くの大学が申請については、WEBでの対応となるため、郵送での対応は稀ですので遠方にいる沖縄の高校生も申請は楽ちんです。そして、6月後半からは大学入学手続きが始まり、7月はビザ関係の申請、そして8月中旬以降に台湾にわたり、9月から晴れて1年生という流れです。私のお勧めは1ヶ月でも早く台湾にわたり、大学附属の語学センターで集中的に中国語の勉強をすることをお勧め致します。

<イベントごと>

在籍する学科や学部、大学に応じてイベントは多岐に渡ると思いますが、私が在籍した政治大学 MBA 課程では例年ドラゴンボートに参加しています。ドラゴンボート、龍船、そう沖縄で言うハーリーです。沖縄のハーリーもその昔中国から伝播してきているので、源泉は一緒かと思いますが、船の形状が沖縄のハーリーよりも小さく、より水際に近い作りとなっています。大学の維新をかけたこのドラゴンボートレースは、練習もハードで週に3回みっちり練習をやり込みました。また大会当日を意識したスプリント練習もあり、練習は本当に大変でしたが、本番では予選突破、決勝戦にまでコマを進むことができ、大変有意義な大会となりました。



大会終了後、メンバーでの一コマ、本当に熱いレースでした！（最高！）

<これから留学を志す皆様へ>

最後になりますが、インバウンドの波が年々増していき、中国語の重要性、英語の必要性も年々高まっています。その2つを同時に勉強することは大変ハードですが、台湾ではそれが出来る環境が整っています。しかし、言うは易しの通り、実際は無我夢中で勉強しないとイケませんし、最初の半年から1年は授業についていけず泣きたくなる日々もやってきます。そういった苦難や苦境を乗り越えた先に、成長が待っていると私は信じています。私は台湾教育学部が提供する奨学金（沖縄県庁が窓口）のおかげで、アルバイトをせず集中して勉強に取り組む事ができました。その感謝の念を形で返したいと思い、毎週日曜日の午前中、那覇市のとんぶす館3階SOHO室にて「台湾留学相談会」を実施しています。これを読んでいる方で少しでも留学に関して興味がある方や不安を解消したい方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。いつもお電話お待ちしております。（問い合わせ：080-9448-6506、タイラ）